

住宅困窮状況申告書

(該当する事項を○で囲んでください。)

(1) 現住宅が住居として不適當である。

- イ 極度に老朽化している住宅に居住している。
- ロ 保安上特に注意を受けている住宅に居住している。
- ハ 衛生上極度に悪い住宅に居住している。
- ニ 不完全な転用住宅、又は応急住宅に居住している。

(2) 住宅がないため家族と別居している。

- イ 夫婦が別居している。
- ロ 親子が別居している。
- ハ 父母・兄弟等別居している。
- ニ 上記以外の親族と別居している。

(3) 間借り又は狭い住宅に住んでいる。

- イ 居住している部屋の広さが1人当たり3畳以下である。
- ロ 部屋が1室だけである。
- ハ 間借りにより苦痛を受けている。

(4) 立退き要求を受けている。

- イ 裁判の判決調停が決定し、明渡し期限が経過している。
- ロ 同上期限が半年以内に迫っている。
- ハ 立退きを要求さ、極度の紛争におちいつている。
- ニ 立退きを要求されている。

(5) 遠距離通勤者である。

- イ 通勤に要する時間が片道2.5時間以上である。
- ロ 通勤に要する時間が片道2時間以上である。
- ハ 通勤に要する時間が片道1.5時間以上である。
- ニ 通勤に要する時間が片道1時間以上である。

(6) その他特殊事情がある。

- イ 公共事業の執行により立退きを必要としているが移転先がない。
- ロ 長期療養患者と雑居している。
- ハ 婚約が成立しているが住宅がないので、結婚できないでいる。
- ニ 災害により住宅がない。
- ホ その他

この申告書に記載した事項はすべて事実と相違ないことを誓約いたします。

平成 年 月 日

古殿町長 岡部 光徳 様

住所
申込者
氏名

印